

が ん ば

島三小育友会報
発 行 部
広 報 部

〔第72号〕



今年も 楽しく七夕集会

心豊かな成長を

育友会副会長 山下利秋

輝かしい伝統ある三小育友会・副会長という大役をいろいろ考え、又、相談したすえにお引き受け致しましたが、実のところ不安な気持ちで、この一学期を過ごしてまいりました。会長をはじめ、皆様方に御迷惑を掛けぬように努めたいと思っておりますので、御指導・御鞭撻下さいませようよろしくお願い申し上げます。

今年度も、育友会活動は日夜をとわず、活発にとり組まれております。

育友会活動が、役員だけのものではなく、お子様方の健全育成の場として、又、会員皆様の親睦の場として、育友会活動に御参加下さいますようお願い致します。

子どもクラブ対抗球技大会が近づきましたが、育友会の行事のなかで、一番多く参加してもらえない行事ではないかと思えます。

大会が開かれるまでには、町内代議員の方がたをはじめとして、ソフトボール・フットベースボールの監督さん、指導者の方がたにおかれましては何かと気苦労も多いかと

思いますが、子どもたちの健全育成につながる一環として、御指導・御協力下さいますようお願い致します。

球技大会が終わって、ようやく夏休みがきたような気がするものですが、この時期が子どもたちにとっては、一番気がゆるむ時ではないかと思えます。

「悪の芽は、春休みに芽ばえて、夏休みに成長する」と、よく耳にする言葉ですが、これは、私達親の責任ではないでしょうか。

学校教育の場から離れ、家庭内での学習の時間が短くなり、自由時間が多くなりますと、やはり開放的な気分になるものです。

親と子のふれあいの機会は多々ありそうですが、皆様の家庭ではいかがでしょうか。私達父兄が、子どもに不安を持たせない家庭をつくり、物質的な豊かさでなく、心を豊かにしてやる事が家庭教育の基礎ではないかと思えます。心身共に成長し、全校児童が元気に二学期を迎えられるよう願ってやみません。

私の夏休み



子供達が楽しみにしている夏休みです。私達の子供の頃の夏休みといえば、手伝いがすむと宿題もそこそこ日に暮れるまでよく遊んだものです。

その頃はプールはなく、海の水がきれいだったので、霊南海岸や内海でまっ黒

白土舟津下

岩 永 兼 満

なるまで泳ぎ、潮が引くとがたっぱらでカニやどんぼ取りをしました。また、今では住宅地となった新山もまだどんぐりの木がおいしげり、カブト虫やクワガタがたくさんおり、よく友達と取りに行きました。

六年の時に先生や学級のみんなと一緒に秩父が浦でキャンプをして、自分達で自炊し、夜は肝だめしなどをして楽し

南下川尻

杉 永 薫 代

いろいろなことをやっていたようです。そんな中で、けんかもよくやり、今ではとてもなつかしく思われます。自慢話にする訳ではありませんが、勉強なんてほとんどしなかったように思います。夏休みの友というのは、やはりありましたが、最後の日近くにあわてて、隣りの子と話しあって、かたづけしたものです。

そして、今と大きく違うことといえば、たとえ勉強しなくても親達の干渉はほとんどなく、時どき仕事の手伝いを命令される位で、今にして思えば、夏休みならではの思い

出です。しかし、私達の頃はそうであったにしても、今ではどうでしょう。いろんな状況は変わり、親達、子供達のあり方が種々論じられていますね。

親達の年令にも巾があり、考え方も又、少しづつ違うことでしょう。しかし、昔も今も子供達の思いに大差のないことを思う時、近頃の子供達は少し忙がしすぎて、かわいそうな気がします。勉強も大切かもしれませんが、しかし同じ位に、子供にとっては遊びも大切ではないでしょうか。

「夏休みっていいなあ。」そんな夏休みでありたいものです。

んだことが心に残っておりま

今の子供達は物資が豊かになりすぎ、カブト虫は店に売ってあり、海もかぎられた所では泳げず、一步道路に出ると車が多く、自然にふれることが少ないという現状です。

せめて夏休みは親子で自然に親しみ、愛する豊かな心を育てるきっかけを作りたいと思います。

* * * * *

四年一組

吉 田 和 也

ぼくは、夏休みに、海やプールに行っておもいきり泳ぎたいです。なぜかというところ、泳ぎも下手だし、五月ごろ友だちの上田光一くんともよくそくしたからです。だからぼくは、夏休みのプールを楽しみにしていました。ところが、そんな気持ちをかえたのが、たかしくんのことばでした。そのことばは、「夏休みについてしようね。」ということばでした。それに、泳ぐ日もつりをする日も同じ日にかさなりました。ぼくは、(どつ

ちに行こうか。)とまよいました。泳ぎもいし、つりもいっぱいいたらおもしろいし、一日考えて、やっとならびました。やっばり、どちらとも行こう。どちらかの人に待ってもらおうと思いつきました。だから、

ふつうは、一番しつことと言えど、なるけど、ぼくは、二つになつてしまいました。

四年一組

中 川 由美子

わたしは、夏休みには、ゼったいおばあちゃんのお手伝いをしたいです。そのわけは、いつもおばあちゃんは、おふるわかし、夕ごはん作り、そ

うじ、せんとく物たみなどお母さんがお仕事にしている時、なんでも仕事をしているからです。ときどきおばあちゃんのお手伝いをしてい

ますが、まだわたしにできることは、少ししかありません。



親の目子の目

五年三組 吉田 あかり

わたしは、夏休みは、家族旅行の計画をたてています。また、町内旅行やプール、工作などがあるのでとても楽しみです。

家族旅行は、千々石ファミリランドに行く予定です。町内旅行のことは、まだ聞いていないけど、町内の人たちと行けるのでうれしです。わたしが、一年間

六年二組 本多 謙一

の中で、一番好きなのは夏休みです。その中でも、去年とおどしの町内旅行が、とくに思い出に残っています。二年のときは、町内旅行のことをあまり覚えていないけど、映画のことは思い出に残っており、とても楽しかったことを覚えていてます。

今年も、思い出になるような夏休みにしたいです。家の中で、じっとして、夏休みをむだにしないで、たったの四十二日間を楽しくすごそうと思います。

広報部より

待ちに待った夏休みの到来です。広報部では、親の目・子どもの目の夏休み特集を企画し、親からは思い出を、子ども達からは今年の計画などを書いていただきました。

親の目では、自由奔放に、毎日遊び過ぎた自分の子ども時代を振り返り、自然とのふれあいの少なくなった最近の子どもの環境、忙しかった毎日のスケジュールに同情的な注がれています。子どもたちは、プールがよいや、つり、カブト虫とり、旅行、勉強などの計画に混って「おばあちゃんの手伝い」を予定している四年生の中川さんなど、それぞれが確かな目で周囲を観察し、普段でないことを夏休みにと、早くから楽しみに張り切っています。読者の皆さんの感想はいかがでしょうか。

五年三組 池田 貴光

ぼくは、夏休みにプールや海に行きたいです。それは、去年は二十五メートル泳げただけ、今年は、なかなか泳げません。だけどぼくは五十メートルをめざしたいです。それと去年は、クワガタやカブト虫をとっていいのでとりにいきたいです。一年生、二年生のときは、百びきぐらいとっていたけど三、四年生はとっていないので今年は、たくさんとりたいと思います。そして、七月二十四日は、

球技大会があります。球技大会にはがんばりたいです。ゆうしようはできないけど、試合には勝ちたいです。そして、あとはひまばかりだから、外でせいいっぱい遊びたいです。たまには魚つりやプールなどにも、いきたいなあと思います。また、町内旅行もあると思います。旅行があったらうれしです。

六年二組 濱田 理恵

私は、小学校最後の夏休みを、くいのないように過ごしたいと思っています。それには、まず、「規則を守る」ということと、「計画を立てて夏休みを過ごす」ということが、とても大切だと思います。五年生までは、不十分だった十點運動も今年はいよいよやろうという足あとを残すように努力しようと思います。前半はおもに勉強に力を入れ、実力を発揮しようと思います。後半は勉強

のつかれをとるためや、自分の体を作るために、友達と思いきり遊んだり、スポーツをしたりしようと思っています。勉強といっても、決められたもののほかに、自由研究や自由勉強を中心にしようと思っています。スポーツは、クラブで十分基礎を習ったテニスで汗を流したいです。私は、体がじょうぶとはいえないので、この夏休みに心も体も、じょうぶにし、大きく成長したいと思っています。

小学校時代の夏休みの思い出は一生残るものです。子どもたちが悔いのない夏休みを過ごせるよう、親の理解と協力が必要とされる時代なのではないでしょうか。

研修旅行を終えて

教養部長

松尾正敏

六月十七日長崎市立城山小
 学校において、視察研修を
 実施いたしました。一行は、男
 十二、女十六、先生三、計三
 十一名の参加者でありました。
 当初、案内を出した時点で
 は、五十五名程度を予定して
 おりましたが、なかなか参加
 者が集まらず困まってしまう
 会長・副会長はじめ、各部
 長さん達に手分けして人集め
 をしていただき、やっと三十
 人を超える参加者を得るこ
 とができました。

さて当日は、雨の方にも降
 りだしたいのを私達のために
 我慢してもらい、八時に出発
 し、予定通り城山小学校に到
 着することができました。
 城山小では、お互いの自己
 紹介から始まり、育友会の組
 織の説明、各部の活動の状況
 実態について双方より活発な
 意見・発言があり、時間が足
 りなくなつたほどでした。
 城山小は、会長を除く役員
 の方は殆ど女性だそうですが、
 母親らしい工夫のある、気く
 ぱりをした日常の活動・集合

をされていることがうかがわ
 れました。今回特に知りたか
 った父親参観については、昨
 年十一月(日)音楽会名目で
 実施されたそうですが、出席
 者は、六百五十四家庭中、両
 親百一十・父親二百三十二・
 母親二百六・祖父母八の計五
 百五十八家庭で、出席率は実
 に八十五パーセントであつた
 そうです。後日のアンケート
 調査結果においては、父親参
 観日は来年もあつた方が良
 いが八十八パーセント、日曜
 が八十パーセント、日曜日が
 良いが八十八パーセント、参
 観授業の科目は、算数・国語・
 理科・社会の順で、いわゆる
 基礎教科を望む人が多かつた
 ようです。それと、参加後の
 時間は、講演会やレクリエー
 ションに当ててほしいという
 人が半数以上を占めておりま
 した。子供の様子をつぶさに
 見ることによつて、子供を理
 解し、そして学校教育の一端
 を理解することの必要性を認
 めるのは、い、この父親にも
 共通するものだ、と強く感じ
 ました。

城山小での研修を終わり、
 昼食のあとを自由時間として
 とつておりましたが、社会見
 学をしたいとの要望が多く、
 地元新聞社という事で、長
 崎新聞社を見学。新聞の役割
 から出来るまでの説明を
 受け、また実際に目のあたり
 にして、見聞を広めてきたと
 自負しております。予定時間
 が来て、帰路につきましたが、
 車中で歌まで出るという和気
 あいあいの内に、ほぼ時間通
 り全員無事帰着致しました。
 そのなかで行き帰りの車中で、
 イビキをかきながら、考えご
 とをされていた成瀬会長の姿
 が、非常に印象的であつたこ
 とをつけ加えておきます。
 満足のいかない点もありま
 したが、何とか研修旅行を終
 了し、所期の目的を達するこ
 とができました。大変
 お忙しい中
 を参加して
 いただいた
 皆様にお礼を申
 し上げます。
 本当に有
 難うござい
 ました。



研修旅行アンケート調査のあらまし

一、今回の研修旅行の参加者
 は例年並みとのことですが、
 それも役員の方が必死に誘つ
 たという話でしたが、73%の
 方は進んで参加したという回
 答ですので、研修旅行の意義
 目的などが、多くの会員に理
 解されれば、参加者は増える
 のではないでしょうか。

二、城山小と
 の交流につ
 いても、勉強
 になったとい
 う方が85%あり
 テーマを「父
 親参観」に絞
 り、成功例の
 学校を選んだ
 ことが、従来、
 今一歩物足り
 ないという不
 満があつた懇
 談で、充実し
 た交流ができ
 たと思われま
 す。

三、今後の研修旅行について
 このまま続けた方がよい23%、
 内容をよく検討して続けた方
 がよい77%となつており、回
 答者全員が続けた方がよいと
 いうことです。
 マンネリ化しているという批判も
 あるというのですが、時宜
 に合った企画、魅力ある企画
 をすれば、続けた方がよいと
 いう志向だと判断しても良い
 のではないでしょうか。
 四、PTA活動で、どんな事
 柄に関心がありますか、とい
 う質問には、子どもの生活指
 導と非行(15)、子どもの遊び
 と友人関係(13)、親子関係
 (9)、学校教育内容(7)、
 スポーツと健康(4)、テレ
 ビと読書(2)の順になつて
 おり、多様な
 会員の志向ぶ
 りがうかがわ
 れます。
 多岐にわた
 っている育友
 会活動の中で、
 各部相互で補
 完し合い、会
 員の志向を吸
 引していかな
 ければならぬ
 と思われま
 す。
 五、その他、子供達が減少す
 るなかで、校内球技大会に対
 する町内育友会の今後の取り
 組みをどのようにすればよい
 かの深刻な悩み、あるいは、
 PTA活動には役員、一般会
 員を問わず、まず参加をする
 ことだと多数の意見が述べら
 れていました。



三、今後の研修旅行について
 このまま続けた方がよい23%、
 内容をよく検討して続けた方
 がよい77%となつており、回
 答者全員が続けた方がよいと
 いうことです。
 マンネリ化しているという批判も
 あるというのですが、時宜

生活標語入選作品

今年で八年目を迎えた生活標語は、応募者五百七十六名作品数九百八十八点が寄せられました。

回を重ねるたびに、内容の充実したものが多くなり、掲示用として使用する作品の選出にも、いろいろと苦勞をされました。

そのような中で、次の二十点を優秀作品として採用し、順次各町内に掲示することに致しました。

鳥三小生活部

ご協力ありがとうございました。

* * * * *

親のあなたが ます手本

崩山 一年 酒井一圭 忠則

なやみごと 一人でなやまず ます相談

津町 五年 山下真実 利秋

悪いこと断ろう 迷わず ハッキリと

子どもクラブ紹介

有馬船津

ぼくたち有馬船津は、男子十名女子十九名、合計二十九名の子どものクラブです。活動としては、まず、月に一回の廃品回収があります。空ビンや古雑誌など集めて回ります。次に、ソフトボールやフットベースボールの練習です。男子は、五月と夏休みのソフトボール大会。女子は、夏休みのフットベース大会に備えています。みんな熱心がんばっています。また、その他、夏休みに行なわれる町内旅行やクリスマスケーキ配りなども楽しみにしています。

中 村 伸 吾

しみな行事の一つです。

このように、みんなで努力して楽しい子どもクラブになるように、がんばっています。

でも、残念なことが一つあります。それは、お菓子やパン、アイスクリームの買い食いで

す。家で食べるのならいいのですが、立ち食いをする人が多

目立ちます。これからも、有馬船津の悪いところをなおし

少しでも、向上させていきたいと思

います。

崩山 五年 松本さゆり 格治

どこへ行くときも 名札をつけて 出かけよう

下川尻 六年 松本美樹 昭治

さあ五時だ 遊びはあしたにまわそうよ

南下川尻二年 松本慎二 春吉

あやまちを 正すあなたは良い子の手本

有馬船津五年 下田真記子 喜三太

これぐらい ゆるす心に ひそむ悪

下川尻 四年 本多奈美 繁行

店先の 買い食い立ち食い やめようね

新山東 五年 加藤大治 久代

登下校 なれた道でも 注意して

川尻 四年 伯川耕一 拓雄

注意されたら 素直に聞きます 行きます

浦田船津上一年 瑞泉 泰 肇

もっと考えよう 自分のしたこと言ったこと

津町 六年 御厨敬慈 正紘

親と子が 楽しく話せる 明るい家庭

中組 四年 松尾将功 正敏

集団登校 のぼせずふざけず 正しい歩行

栄町 二年 中垣 正明

われ先に 急いだ心に 事故が待つ

南下川尻五年 杉永雅紀 宏

あいさつは してもされても良い気持ち

坂上 四年 入江辰也 勝幸

ありがとう すみません は 日常のエチケット

南下川尻六年 濱田理恵 一喜代

飛び出すな、ぼくもわたしも 心にいつも赤信号

南下川尻四年 前田 清治

商店街 用もないのに 行きません

栄町 五年 佐藤万里子 聡明

ゴミをポイ いつものくせが 大きなゴミに

八幡町 五年 松田 憲明 信也

時刻を守ろう 集団登校

みんなにめいわくかけません

有馬船津二年 福田ユリエ 貞治

学校から

*夏休み行事

七月二四日ー子どもクラブ 対抗球技大会

二九日ー消防スケッチ大会(鳥原城)

八月三ー五日

クラブ対抗フットボール大会

九日ー(市文化会館) ウイーンの森少年合唱団演奏会

二一日ー市連Pフットベースボール大会(工業高校にて)

◎登校日 八月 一日 九日 二〇日

・始業時間はいつものとおりです。

*お知らせ さかい衣料さんから、来客用のスリッパをいただきました。ありがとうございます(九十足)

編集後記

いよいよ、長い夏休みです。第72号「がんば」も、何とか間に合わせる事ができました。ご家庭の話題の一つに加えていただければ幸いです。